

これまでのまとめ

これまでに学んだこと

- 台風や集中豪雨の恐ろしさについて
- 災害時における、あなたと家族、隣近所での避難行動について
- 避難するための正しい情報の入手方法について
- 安全に避難するために日頃から準備するものについて

キーワードは避難(逃げる)

台風や集中豪雨が襲ってくることを防ぐことはできません。

しかし、被害を少なくすることは可能です。激しい雨のときには、逃げる勇気も必要です。

人はなぜ逃げないのか？

(「人間の正常化の偏見」が逃げる妨げをしている)

※平成18年1月19日 防災講演会『洪水時の被害軽減とハザードマップ』(講師:群馬大学片田教授)より

例えば

- ★ 命まで奪われることはないだろう・・・
- ★ 隣の住人も逃げていないようだ・・・
- ★ 行政からの避難勧告も出ていない・・・
- ★ 以前もこの程度の雨で大丈夫だったから・・・

つまり、危険であるにもかかわらず、「自分だけは大丈夫・・・」と自分に都合のいいように解釈してしまう人間の心理が働くからです。

大事なこと

これからは、

「激しい雨のときには、早めの避難を心がけ、いつ逃げるかを念頭に置くこと」

「避難するときは、あなたと、あなたの大切な人、隣近所に一声かけて一緒に逃げること」が大事です。

ハザードマップはあくまでシナリオ(想定)にすぎません。浸水想定区域図を見て、自分の家は浸水しない(色が塗られていない)からといって油断は禁物です。大洪水がいつ襲ってくるかは誰にもわかりません。

市民のみなさんへ

このハザードマップは、磐田市民と行政からなる「磐田市ハザードマップ検討会」で検討して作り上げたものです。

ここまでのページは災害の起こる原因や避難時の心構えなどについてまとめています。

次のページからは、みなさんの住んでいる地域について避難ルートや避難時の注意点などの書き込み方法が示してあります。また、地域ごとの浸水想定区域図なども作成しました。ご家庭、地域、学校などでおおいに活用してください。

